

ECMO 療法に関する医療提供のあり方及び ECMO 療法導入済み患者搬送の検討 (その2)

担当：

増野智彦、清水直樹、落合亮一、高山義浩、竹田晋浩

研究協力者：青景聡之、池山貴也、小林克也、齊藤修、鈴木健一、富永直樹、
山口昌紘

目次

A. 研究目的

B. 研究方法

C. 研究結果

1) ECMO 搬送の必要性・安全性・妥当性について

2) ガイズ・アンド・セントトーマス病院 (Guy's and St. Thomas's
Hospital, London, UK) における ECMO 搬送体制について

(ア) England における Severe Respiratory Failure

Service (ECMO センター) 設置の経緯

(イ) Severe Respiratory Failure Service

(ウ) ECMO 搬送

3) カロリンスカ大学所属アストリッド・リンドグレン小児病院 (Astrid Lindgren Children's Hospital) における ECMO 搬送体制について

(ア) カロリンスカ ECMO センターの経緯

(イ) ECMO 搬送体制確立にかかる経緯

4) わが国における ECMO 搬送体制の整備に向けて

(ア) 重篤患者緊急搬送体制の整備背景

(イ) ECMO 搬送体制の整備条件

(ウ) 施設内 ECMO 搬送

5) ECMO 搬送シミュレーション

(ア) ECMO 搬送コンソール

(イ) ECMO 搬送用加温器

(ウ) ECMO 搬送シミュレーション

D. 考察

E. 結論

F. 健康危険情報

G. 研究発表

H. 知的財産権の出願・登録状況

